

令和8年1月29日

報道関係者 各位

(照会先)

全国健康保険協会広島支部

企画総務部 企画総務グループ

担当：可部、堤

電話：082-568-1011

コミュニケーションロゴ・タグライン導入のお知らせ

全国健康保険協会¹（本部：東京都新宿区四谷1丁目6番1号、理事長：北川博康）（以下「協会けんぽ」という。）は、加入者・事業主とのコミュニケーションを一層深めていく上での新たな「接点」として、「コミュニケーションロゴ」及び「タグライン」を制作しました。広島支部（広島県広島市南区松原町2丁目62番、支部長：松原真児）においても、順次使用を開始します。

「もしも」と「いつも」に安心を。



<1. コミュニケーションロゴ・タグライン制作の背景>

加入者・事業主との関係性

協会けんぽは、約276万事業所、約3,970万人の加入者（令和6年度末時点）からなる日本最大の保険者です。協会けんぽの加入者及び加入事業所は、住んでいる地域や会社の業種、規模等が様々であることから、他の保険者と比べて疾病等のリスクを多様な加入者同士が支え合っているという特徴を持っています。

人口減少・少子高齢化という社会構造や医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、健康保険の運営を安定的に行い、加入者の健康増進を図るという保険者が果たすべき役割は、ますます大きくなっています。協会けんぽがその役割を果たしていくためには、協会けんぽの取組の内容や意義について一層の関心・共感を持っていただけるよう、加入者・事業主とのコミュニケーションを深めていく必要があるという問題認識がありました。

加入者・事業主との新たな「接点」

そうした中、マイナ保険証の導入によって、令和6年12月より健康保険証の新規発行が停止され、協会けんぽの象徴的な存在となっていた水色の健康保険証の配付が終了しました。水色の健康保険証は、加入者・事業主と協会けんぽを繋ぐ「接点」となっていたため、加入者・事業主とのコミュニケーションを深めていくための新たな「接点」が必要と考えました。そこで、全国健康保険協会管掌健康保険の愛称である「協会けんぽ」をモチーフに、加入者・事業主とのコミュニケーションを一層深めていく上での新たな「接点」として、「コミュニケーションロゴ」及び「タグライン」を制作しました。なお、「コミュニケーションロゴ」及び「タグライン」は、本部及び47支部を代表した職員によるワークショップを開催する等、協会けんぽの職員が主体となって制作しました。

<2. コミュニケーションロゴのコンセプト>

「焔（きょう）」の意味は、力をあわせる、力をひとつにする

協会けんぽの「協」のつくりの力三つは「焔（きょう）」と言い、力をあわせる、力をひとつにするという意味があります。「焔（きょう）」をモチーフに、幸福の象徴である三羽の「青い鳥」が力を合わせ、健やかで安心な生活を築き、輝く明日へと羽ばたく様を表現しました。また、青色は、誠実さや冷静さを象徴する色であり、公共性の高い制度としての「確かな信頼感」や「安心して任せられる存在感」を表現するとともに、わずかに緑みを帯びた水色に近いトーンとすることで、清潔感や安心感を与えると同時に、健やかさや制度の透明性を想起させる色としました。

「もしも」と「いつも」に安心を。



協の右の力三つ「焔（きょう）」の意味は、
力をあわせる。力をひとつにする。

<3. タグラインのコンセプト、ステートメント>

「二つの機能「保険」と「保健」

協会けんぽの二つの機能である「保険」と「保健」を、一般の方にもわかりやすい「も

しも」と「いつも」という言葉に置き換えて表現しました。また、タグラインに込めた想いを紐解くステートメントを定めました。

「もしも」と「いつも」に安心を。

ステートメント

人生100年時代。
やりたいことにいろいろと挑戦できる時代です。
けれども、長い人生の中で、
自分や家族、大事な人の健康、医療や介護、老後の生活など、
将来について不安を感じることもあるかもしれません。

あなたの人生を守ること。
それは、あなたの今を守り続けること。
あなたが病気やケガで困ったとき、
全国に広がるいちばん身近なセーフティネットとして、
大きな安心を届けることはもちろん、
人生100年時代だからこそ、毎日の健康づくりを支え、
あなたが安心して、生き生きと暮らせる土台でありたい。

「もしも」だけではなく、「いつも」の安心も考える。
あなたが羽ばたく未来へ。
協会けんぽは、どんなときも寄り添い、伴走し続けます。



<4. 今後の展開について>

各種広報等において順次展開

今般制作した「コミュニケーションロゴ」及び「タグライン」は、ホームページや SNS、広報紙、イベントなどの各種広報や、「ひろしま企業健康宣言」事業²における「ひろしま企業健康宣言証」や「ヘルスケア通信簿」³等をはじめとした事業所とのコミュニケーションツールにおいて順次切替を進め、コミュニケーションロゴ・タグラインを通じて、加入者・事業主とのコミュニケーションを深めてまいります。なお、以下のロゴマークは、政府管掌健康保険から民間の保険者として協会けんぽが設立される際に公募が実施され、全国健康保険協会設立委員と外部有識者からなる選考会議における選考を経て、全国健康保険協会設立委員会で決定されたものであり、今後も、全国健康保険協会管掌健康保険のシンボルとして引き続き使用してまいります。



¹ 平成 20 年 10 月 1 日、国の政府管掌健康保険事業を継承し、これを運営する法人として設立されました。主に、中小企業で働く従業員とその家族が加入する健康保険の保険者として健康保険事業及び船員保険事業を行っています。

² 事業所(事業主)が従業員の健康づくり組織全体で取り組むことを社内外へ発信(宣言)し、協会けんぽがその活動をサポートする仕組み。参加する事業所へのサポートとして、健康づくり講座事業や健康経営に役立つ情報誌の発行等を行っています。

³ 従業員の医療費、健診結果に基づき、健康に関するデータを「見える化」したものであり、40 歳以上の健診受診者が 10 名以上の事業所に送付しています。広島支部全体や同業種の平均値との比較した情報を示すことで、事業所の健康度をわかりやすくフィードバックし、健診データの有効活用を行っています。